

平成 30 年度
新潟市芸術創造村・国際青少年センター
指定管理者事業計画書・収支計画書

新潟市中央区東堀前通 6 番町 1061 番地
環境をサポートする株式会社きらめき
代表取締役社長 山田茂孝

【経営理念】

“自然” “創造” “共生” によるまちづくり
市民が活発にふれあう地域世代間交流拠点を目指します

【経営方針】

経営方針 1. 『水と土の芸術祭』の理念を継承した文化芸術活動支援事業

(ア) 統括ディレクターの常駐

- ① 「水と土の芸術祭 2015」総合ディレクターを統括ディレクターとして常駐させます。
- ② 平成 30 年度に開催される同芸術祭を全面的にサポートすると同時に、その財産とネットワークをフル活用します。

(イ) 「市民プロジェクト」との連携

統括ディレクターのネットワークを活用し、同芸術祭以降も「市民プロジェクト」各団体と連携しその活動を応援します。また本施設を活躍の場として活用していただきます。

経営方針 2. 『プロジェクトアドベンチャー』と同種プログラムの提供

(ア) 『にいがたアドベンチャー（以下、「NA」という。）』の立ち上げ

青少年体験活動推進事業については『プロジェクトアドベンチャー（以下、「PA」という。）』と同種の体験活動プログラムを提供します。そのために PA の考え方を基本理念とした NA を立ち上げます。

(イ) 幅広い青少年健全育成プログラムの提供

事業バリエーションの多様化として、三条市グリーンスポーツセンター指定管理者「さんじょう自然学校」（弊社と特定非営利活動法人 NPO さんじょうで構成）としてこれまでの 7 年間で培ってきたノウハウを活かし、各種体験プログラムを提供します。

(ウ) 積極的な指導者育成

年 2 回、(株)プロジェクトアドベンチャージャパン（以下、「PAJ」という。）より講師を招聘し指導者を養成します。

(エ) 大畑少年センター事業の継続

大畑少年センターで実施していた事業を参考にし、一部事業については継続して実施します。

経営方針 3. 地域の方々が 3 世代一緒に利用できる取組み

(ア) 親子で気軽に立ち寄れる施設

(イ) 子供たちが気軽に立ち寄れる居場所の提供

(ウ) シニアのふれあい事業の展開

(エ) 施設の平等利用の確保 ～ ユニバーサルサービスの実現 ～

【施設の休館日及び営業時間】

休館日	12月29日～翌年1月3日
開館時間	午前9時～午後9時30分

*休館日等スケジュール変更については本施設ホームページ、SNS、市報、本施設内掲示にて周知します。

【文化芸術活動支援事業】

アーティスト・イン・レジデンス

- 新潟市のアイデンティティを象徴する「水と土の芸術祭」と連動することで、新潟市ならではのアーティスト・イン・レジデンス（以下、「AIR」という。）としての特色を国内外へ打ち出します。平成30年度は「水と土の芸術祭2018」参加芸術家によるAIR2組を含む4組実施します。

(ア) 募集

募集については、2か国語以上のホームページ及びSNSを中心にを行います。また美術誌など有効な広報媒体を活用する他、国内外のAIR施設（3331ArtsChiyoda等々）との連携及び「NIIGATA オフィス・アート・ストリート」や「小須戸ARTプロジェクト」等各種アートプロジェクトとの連携を図ります。

(イ) 招聘プログラム等選定委員会の設置・運営

招聘プログラム等の選定委員会を設置し、平成30年度については年2回（10月・12月）開催します。なお委員については新潟市との協議の上、決定します。

(ウ) 芸術家等のリストストック

万一、公募が不調あるいは選定水準に至らない場合に備え、様々な局面に対応し得る芸術家等の候補者を独自にリストアップします。

(エ) 滞在制作芸術家等創作活動支援

芸術家等の滞在期間中は、地域の自然、歴史、文化の魅力を充分体感できるよう支援を行います。なお創作活動支援については「みずつち市民サポーターズ」をはじめ、大学生、専門学校生など、ボランティアスタッフとも協働しながら行います。

(オ) AIRによる市民交流事業

制作過程の公開、展覧会、ワークショップ、レクチャーなどの交流事業を行います。なお準備・運営・撤収等には、「みずつち市民サポーターズ」をはじめ、大学生、専門学校生など、ボランティアスタッフとも協働しながら行います。

地域の文化芸術関係団体等による市民交流

- 「市民プロジェクト」各団体や西大畑旭町文化施設協議会「異人池の会」等と連携し、地域のにぎわい空間を創出します。
- 地域や市民との有機的な絆を育むことで、「水と土の芸術祭」における「市民プロジェクト」のような、継続性のある関係及び事業を実施します。

水と土の文化ギャラリーの企画展示・運営

(ア) 企画展の開催

平成30年度は「水と土の芸術祭 2018」の開催年度であることから、連動した企画展を開催します。

(イ) 全国の芸術祭関連資料や美術・芸術関連書籍等の設置及び管理運営

これまでの「水と土の芸術祭」開催資料や美術・芸術関連書籍等を設置します。またアーティストカウンスル新潟と連携することで生きた情報の双方向的な受発信を図ります。

平成30年度 文化芸術支援事業 年間計画

種別	事業名	内容	開催時期
AIR	招聘プログラム〈春夏〉	2組、滞在制作90日以内、中堅アーティスト 初年度は市の選定プログラム	H30年 6～10 月
AIR	自主活動プログラム〈冬〉	2組、滞在制作30日以内、公募・選考 H30年7～9月、若手アーティスト	H31年 1～2月
AIR 市民交流	招聘プログラムアーティスト〈春・夏〉(A)	内容はアーティストの特性による。1組につき2回以上実施	H30年 7～9月
AIR 市民交流	招聘プログラムアーティスト〈春・夏〉(B)	内容はアーティストの特性による。1組につき2回以上実施	H30年 7～9月
AIR 市民交流	自主プログラムアーティスト〈冬〉(A)	内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施	H31年 1月
AIR 市民交流	自主プログラムアーティスト〈冬〉(B)	内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施	H31年 2月
地域団体 市民交流	礎窯サポーターズ ワークショップ	「礎窯サポーターズ」と連携し、陶芸体験を軸に独創的な物語を生み出すワークショップを実施	H30年 11月
地域団体 市民交流	「一箱古本市」	参加者が段ボール箱ひとつ分の古本を販売します。どんな本をいくらで売るかは店主の自由です本屋さんごっこが楽しめます	H30年 12月
地域団体 市民交流	移動部活プロジェクト	「手部」と連携し、移動部活プロジェクトを実施。音楽やパフォーマンスの要素も盛り込み、祝祭的な楽しさを体感できる「場」の創造をめざす。	H30年 12月
地域団体 市民交流	柳都・新潟の民芸アートづくり	「新潟鳥凧の会」と連携し、柳都・新潟の民芸アートづくりに挑戦する。柳の枝や和紙で創作した本物そっくりの鳥凧を実際に揚げて楽しむ体験を共有する。	H31年 1月
地域団体 市民交流	節分 鬼の面づくり	障がい者の活動支援を行う団体と連携し、地元芸術家とともに節分の鬼の面を作るワークショップと豆まき大会の実施。	H31年 2月

【青少年体験活動推進事業】

NPO 法人自然体験活動推進協議会（CONE／コーン）より講師を招聘し、職員に「CONE リスクマネジメント講習会」を受講させます。職員全員が自然体験活動における安全管理の在り方を理解することで、利用者や参加者に信頼され、安心・安全な体験活動プログラムを提供します。

体験活動プログラム（小中高等学校、施設利用青少年団体向け）

(ア) 「にいがたアドベンチャー」（以下、「NA」という。）の設立 ★重点実施★

- ① 人間関係づくりプログラムについて、PA プログラム同種事業として立ち上げます。プログラム内容を施設利用団体に積極的に PR し、NA の理念や取組みについての啓発を行います。
- ② プログラム指導者は施設職員（PAJ 主催コース受講者）のほか、指導経験のある者を外部スタッフとして手配し、指導に入ります。
- ③ 年に 2 回実施する「にいがたアドベンチャー指導者養成講座」受講者にはできるだけ指導者として登録をお願いします。
- ④ 限られた体験活動の時間の中で最大限の効果を引き出せるファシリテーション力を身につけられるよう、指導者登録者を対象に「ファシリテーション講座」を毎年開催します。
- ⑤ 「妙高アドベンチャー」との情報交換
同種事業を展開している国立妙高青少年自然の家「妙高アドベンチャー」とは定期的に情報交換を行い、情報共有と事例の水平展開を図ります。

(イ) 松林や砂浜を利用した自然体験活動

ネイチャーゲーム、プロジェクト WET、アウトドアチャレンジ野外力検定等の様々なアクティビティをメインに、フォトオリエンテーリング、サンドアート、自然観察などをプログラムとして整備します。

青少年健全育成事業（青少年個人向け）

(ア) 「体験の風をおこそう」運動事業の推進

国立青少年教育振興機構と関係団体とが連携して推進している体験の風をおこそう運動事業に賛同し、積極的に事業に取り入れます。

(イ) 【宿泊事業】（平成 30 年度は 3 回）

- ① アドベンチャーキャンプ（館内研修室泊。年 1 回実施。）
にいがたアドベンチャープログラム、原始的な火おこし、野外炊事、たき火、ネイチャーゲーム、ナイトウォークなどの各種プログラムを体験して頂きます。
- ② わくわく体験キャンプ（館内研修室泊。年 2 回実施。）
異学年の交流を目的に、にいがたアドベンチャープログラム、レクリエーション、ニュースポーツ、野外炊事、ネイチャーゲームなどの各種プログラムを体験して頂きます。

(ウ) 【日帰り事業】(平成 30 年度は 13 回)

- ・アウトドアチャレンジ野外力検定会・原始的な火おこし・ネイチャーゲーム・ピザ作り・たき火・魚釣り・そうめん流し・お菓子づくり など

指導者育成講座

(ア) 「ゆいぽーと体験活動指導者養成講座」(※人間関係づくりプログラム以外)

- ① 新規指導者向け…日帰り 6 時間の養成講座を実施(年 1 回実施。)
- ② ファシリテーション講座…各種指導に必要なファシリテーション力を向上させるための講座を実施(年 1 回実施。)

(イ) 「にいがたアドベンチャー指導者養成講座」

- ① 新規指導者向け…2 泊 3 日(21 時間)の養成講座を実施します。(年 2 回実施。PAJ より講師を招聘する。)
- ② 提供プログラムの質の向上を目指し県外で実施されている PAJ 主催の指導者養成講座へ関連スタッフを積極的に参加させます。

防災への取組み

- 「さんじょう自然学校」の協力のもと、防災ディキャンプを実施します。非常食調理体験や毛布担架搬送体験、非常用持出袋講座など、防災意識向上を図るとともに、地域の見守り支えあい体制の構築に寄与します。

青少年の自由な遊び場、居場所の提供事業

- 体育館や多目的スペースが空いている日を青少年が運動や遊び、創作活動ができるよう無料開放します。
- ボールやラケットなどの道具のほか、けん玉、スラックライン、カプラ、オセロ等も用意することで、様々な運動や遊びができる場所を提供します。
- また、小中学生は午後 6 時まで、それ以降は高校生や大学生が使用できるようにするなど、安全に利用してもらえるよう時間や場所等を決めて運営をしていきます。

複合施設の特性を活かした事業

(ア) 近隣自然環境を活かした事業

- ① 海とアート！夏休みわくわく体験キャンプ

夏休みに小学生を対象とした 1 泊 2 日の「海とアート！夏休みわくわく体験キャンプ」を開催します。ここでは野外炊飯や海辺での集団活動体験のほかに、「サンドアート」や「漂流物で秘密基地づくり」などのアート体験を絡めることによって、日本海を臨む文化芸術活動と青少年体験活動の複合施設という特性を活かします。

(イ) 地域夏休み行事のお手伝い

夏休み企画として毎年、自治会や地域コミュニティ協議会等で行っている子供たちの夏休み行事を「ふたば夏休みわくわく体験」として全面的にバックアップします。要望に合わせ、文化芸術活動や青少年体験活動と組み合わせた形で、夏休みならではの体験プログラムを提供します。

(ウ) 学校で利用する体験活動プログラムのコンテンツ拡大

雨天時や野外活動に参加できない子供たちのための選択肢として文化芸術系の創作活動プログラムも用意します。

(エ) 「ふたば感謝祭」の開催

来場者が減少する時期、冬場への対策も含めて「ふたば感謝祭」を開催します。複合施設の特性の進化、文化芸術と青少年育成のコラボをコンセプトとし、地域の方々への感謝の意味も含め、全館を使用したイベントを開催します。

国際交流事業

- 新潟市在住及び訪れた外国人に新潟市の文化的特性を活かした体験をしていただき、かつ新潟の子供たちが、新潟の魅力を再発見し、郷土愛を育むことができる事業コンテンツを整備します。

平成 30 年度 青少年体験活動推進事業 年間計画

種別	事業名	内容	開催時期
青少年 宿泊	アドベンチャーキャンプ(1泊2日)	館内泊でNA、火おこし、野外炊事、たき火、ネイチャーゲーム、ナイトウォークなどを体験	8月
青少年 宿泊	わくわく体験キャンプ(1泊2日)	館内泊でNA、レクリエーション、ニュースポーツ、野外炊事などを体験。異学年、異世代交流が目的。夏・冬バージョンあり	7月、1月
青少年	アウトドアチャレンジ野外力検定会	野外技能の修得度を、全国共通の評価制度で継続的にチャレンジできる検定会	10月
青少年	プロジェクトWET	水をテーマにしたアクティビティ	11月
青少年	原始的な火おこし体験	舞ぎり式、弓ぎり式火おこしの体験	7月、8月
青少年	ネイチャーゲーム体験	様々な感覚で自然とふれあう活動	6月、10月
青少年	ピザ作り体験	簡易的なピザオープンで手作りピザ作り	9月
青少年	たき火交流会	たき火を囲み交流	6月、8月
青少年	魚釣り体験	海での魚釣り体験	7月
青少年	そうめん流し体験	野外でのそうめん流し体験	7月
青少年	お菓子作り体験	調理室でのお菓子作り体験	2月
青少年	暗闇で光るアートづくり体験	蛍光絵の具などを使用して、ブラックライトに浮かび上がるアートづくり	1月
市民交流	防災デイキャンプ	災害食体験や防災スキルを学ぶワークショップ	10月
市民交流	ふたば感謝祭	「ふれあい、体験、創造」 ～芸術・自然・地域の融合～	2月
遊び場 居場所	キッズスペース、体育館開放	体育館や多目的スペースが空いている日を開放(運動、創作活動) ※けん玉、スラックライン、カブラ、オセロ等も	通年
指導者 育成	にいがた体験活動指導者養成講座(A業務)	新規指導者向け、日帰り6時間	9月
指導者 育成	にいがたアドベンチャー指導者養成講座(B業務)	新規指導者向け、2泊3日(21時間)。株式会社プロジェクトアドベンチャージャパンより講師を招聘	6月、2月

【地域世代間交流事業】

(ア) キッズスペースの設置

おもちゃで遊んだり、絵本を読んだり、お散歩の合間に休憩したり、親子でゆっくりお過ごし頂ける無料休憩スペースを設置します。

(イ) オーガニック菜園

敷地内の一部をオーガニック菜園として開放（抽選、有料）し、野菜栽培を通して地域コミュニティ活動に貢献します。

(ウ) シニア世代との交流事業

① コミュニティ花壇

「花いっぱい運動」として地元シニアの方より協力、整備頂いた花壇に近隣の保育園児を中心に花を植え、種まきをして頂く「コミュニティ花壇」を設置します。

② シニア世代による教室の開催

冬場を中心に「大畑少年センター」事業でシニア世代が講師となった教室事業を継続し、青少年との交流を促進します。

(エ) 冬場の利用促進

① ふたば感謝祭の開催

② 青少年に対する一般開放（一部）、学習室として施設を開放（学習室については夏期にも実施）

③ こたつギャラリーをコミュニティスペースの一部に設置（期間限定）

【自主事業】

利用者の利便性の向上を目的とした有料自主事業を実施し、それらによって得られた利益については全て施設の維持管理費に充当します。

(ア) ケータリング、お弁当サービス

利用者からの希望があればケータリング、お弁当サービスを提供します。

(イ) 自動販売機収入による無料 Wi-Fi 設置

自動販売機の手数料収入を財源として、1～2 階に無料 Wi-Fi を設置します。

(ウ) その他サービス

その他サービスとして下記の実施します。

- ・コピー
- ・コインランドリー（3、4 階）
- ・軽食及び身の回り品販売
- ・fax サービス
- ・インターネットサービス
- 他

(エ) 「二葉アーツスクール」の開講

文化芸術及び青少年の社会活動全般にわたるクリエイティブな現場で活躍する講師を招いた講座を定期的に関催、地域間交流及び人材育成を図ります。（年5回開催予定）

(オ) 「メセナ活動」の推進

芸術家等の AIR 活動を支援すべく、自主事業として会員制のメセナ活動を推進し、参加企業を募ります。またそれ以外にも個人スポンサーを募ります。なお、調達資金については、それぞれ指定管理料及び(ア)～(エ)の自主事業とは別口座にて管理します。

(千円)

項目	売上	経費	自主事業からの補填額	備考
二葉アーツスクール参加費	720	410	310	参加費1回300円～2,000円、講師料等
自動販売機手数料収入	120	0	120	清涼飲料水等
コピー・fax・ネットサービス	60	0	60	モノクロ1枚10円、カラー1枚50円
コインランドリー手数料	100	0	100	
軽食及び身の回り品販売等	500	300	200	カップラーメン、歯ブラシ、タオル等
薪、野外自炊材料販売手数料	70	0	70	
芸術系商品販売	300	230	70	
カフェ・ケータリングサービス・お弁当	3,130	1,900	1,230	五泉市村松観光開発会館より配達
合計	5,000	2,840	2,160	

【目標人数】

(ア) 合計

事業区分	目標人数(人)	備考
文化芸術活動支援事業	10,270	水土 2015 サテライト実績参考(5,824人)
青少年体験活動推進事業	48,800	H26 年度大畑少年センター実績を参考(51,897人)
合計	59,070	

(イ) 文化芸術活動支援事業内訳

事業カテゴリー	目標人数(人)	備考
AIR 制作見学・展示会	1,200	4組×平均来場人数 300にて試算
AIR 市民交流事業	200	8回×平均参加人数 25にて試算
地域団体市民交流事業	1,450	5回×平均参加人数 290(感謝祭は体験活動にてカウント)
市民制作活動等貸館利用	1,320	304日×平均利用人数 4.3
水と土の芸術祭	5,800	2015 実績より試算
二葉アーツスクール自主事業	150	5講座×平均利用人数 30
ボランティアの活用	150	30回×平均参加人数 5

(ウ) 体験活動推進事業内訳

事業カテゴリー	目標人数(人)	備考
青少年体験活動(青少年団体向け、施設利用)	23,300	団体数 1,100×平均参加人数 21.1で試算
青少年健全育成事業(青少年個人向け)	350	宿泊 3×平均参加人数 30 日帰り 13×平均参加人数 20で試算
市民交流事業	730	防災に関する事業 1×参加人数 30 感謝祭は 700で試算
青少年と青少年の引率者向け 自由な遊び場、居場所事業	24,335	コミュニティスペース平均人数 80×304日で試算
指導者育成事業	45	3事業×平均参加人数 15
ボランティアの活用	40	1事業平均 2×20事業で試算

*4月、5月の利用実績なしとして試算

【研修計画】

- 利用者ニーズに対応出来る優れた人材を育むため、適切な研修を実施することにより施設の安全・安心・快適性の向上を図ります。

(ア) 全職員のPAJ講習会への参加義務付け

ディレクターを含む全ての職員については PAJ による指導者養成講習会参加を義務付けます。PA の基本理念を学び、NA を立ち上げます。

(イ) 施設管理・運營業務一般研修

研修名	実施月		実施者
【施設受付・貸出業務】			
接客・接客研修	4月	9月	きらめき本社 研修課
個人情報取扱研修	4月		きらめき本社 研修課
コンプライアンス研修	2月		きらめき本社 取締役
【安全管理】			
避難訓練	5月	11月	防火管理者
業務別作業研修(清掃)	5月	10月	清掃作業監督者もしくはビルクリーニング技能士
安全衛生一般研修	4月		きらめき本社 医療関連サービス係
AED研修	5月	11月	AEDプロバイダー
指定管理者施設合同研修会	2月		外部講師

【安全確保、災害発生時の対応、事故防止や発生時などの緊急対応】

- 利用者の安全を第一に考え各種マニュアルを基に研修・指導・訓練を行うとともに気配り・目配りにより事前の危険要素発見に努め、事故等を未然に防ぎます。
- 本社内にて24時間体制の管制センターを有しており緊急時には迅速に対応します。

安全対策への取組み

(ア) 巡視による早期発見、早期対応

定例巡視 9:00、15:00、閉館時

宿泊利用時 19:00、21:00、翌朝5:00(上記に追加)

(イ) マニュアルの整備

下記のマニュアルを整備し、現場に設置します。また「防火ポケットマニュアル」については職員必携とします。

- ・「危機管理マニュアル」 ・「防火ポケットマニュアル」・「心肺蘇生・応急処置マニュアル」
- ・「感染症対応マニュアル」

緊急連絡体制

